



## 進路を見つめて

### 3年生へ

#### 「共通テスト」に向けて

10月5日(火) 288名の大学入学共通テスト「志願票」を郵送で大学入試センターに提出しました。現在は、「確認はがき」が届き、各自登録内容の確認をしているところです。

今年度の共通テストの志願者総数は、10月7日(木)までに到着した分で、50万1981名。7日の消印受付なので、最終的には若干増えます。昨年度と比べて1万人以上減少しました。

#### 実践的な問題演習を

2学期に入り、進路指導室に「赤本」を借りに来る生徒が増えました。基礎が身に付いたら、問題演習をして、実践力を身に付けましょう。志望校の過去問題を解き、合格するために必要な学力に対して、自分は何が不足しているかを知りましょう。自分の弱い分野を補強することで、得点の波の無い(運に左右されにくい)安定した得点力が身に付いていきます。同時に、得意科目(分野)をさらに伸ばして得点源にすれば、合格に近付くことができます。

また、過去問題を解く際には、そろそろ時間を計って解くようにしましょう。入試では、限られた時間で合格点を取ることが要求されます。読解や計算のスピードアップとともに時間配分を考えて解くことが必要です。どの問題から解くかも重要になります。数学などでは、解法の選択が合否を分けることもあります。勿論、時間内に解けなかった問題も、後で解くことは言うまでもありません。これから過去問題に取り組む人は、いきなり第一志望校の問題を解くよりも、第三志望・第四志望あたりから取り組むのがよいでしょう。一般に難易度の高い大学は問題も難しいので、今の時期はまだ歯が立たないことが多いと思われます。

#### 平常心を

2学期になると、努力に比例して成績が伸びないと焦り始める人がいます。大丈夫です。実際には努力をした分は必ず学力が伸びているはずですが、自分だけではなく他の人も努力をしているので、成績はなかなか一気に上がりません。大事なものは、平常心を失わず、コツコツと努力を続けることです。特に現役生は、本番直前まで伸びます。時に気晴らしもしながら、最後まで努力を続けましょう。試合や試験には運の要素も少なからずありますが、好運の女神に微笑んでもらうためには、やはり努力が必要です。(好運を呼び込むために、先日進路指導部を代表して佐藤先生が湯島天神に合格祈願に行ってきました。知っているとは思いますが、湯島天神は学問の神様・菅原道真を祀る代表的な神社です。)



## 1年生へ

### 文理選択に向けて

1年生は、自分の進路が大きく分けて文系か理系かを決め、2学年での地理歴史と理科の科目選択をしなければなりません。「進路希望調査」や来年度の「選択科目予備調査」も実施されましたが、自分の進路についてももう一度よく考えて、御家族とも相談しましょう。科目選択は、将来の進路希望(学問分野や職種)が決まっていれば、その実現に向けて適切な科目を選ぶことになります。まだ進路が具体的に決まっていない場合は、自分の興味や得意分野を踏まえて考えましょう。(その前提として、世の中にはどういう学問があり、どういう職業があるかを調べましょう。)得意科目や興味のある分野は、自分で発展的に学習したり、関連事項を調べたりしてみましょう。そこから、自分の進むべき道が見えてくることもあります。また、苦手科目を作ってしまうと、進路選択の幅が狭まってしまうので、できるだけ苦手科目を克服するように心掛けましょう。

## 2年生へ

### 自由選択科目の決定に向けて

2年生は、さらに具体的な進路希望(大学・学部・学科)を踏まえて、受験科目を決め、自由選択科目を決定する必要があります。

国立大学か私立大学かも、大きな選択になります。国立大学の場合、学費が安いなどのメリットもありますが、一般に受験科目が多くなるので、学習の負担は大きくなります。慎重に考えましょう。文系志望の理科や理系の地理歴史・公民は、負担の軽い科目を選びましょう。

私立文系の場合、地理歴史・公民は日本史か世界史を選ぶのが一般的です。覚える量が多く大変ですが、受験できる大学・学部が多いです。地理や政治経済での受験を考えている人は、自分の志望大学・学部が受験できるか確認しましょう。経済系の学部の場合、数学で受験できる大学も多く、数学の得意な人は、有利になる場合もあります。

私立理系の場合、理科は専門とする内容によってある程度決まってきます。また、早稲田大や慶應大などでは(一部の国立大学でも)、理科が2科目必要になります。



## ルビコン河畔 ～進路コラム～

中間考査が終わると急に冷たい風。いろいろあった2021年も残すところ2ヶ月です。今年オリンピック・パラリンピックの年でしたがほとんど無観客の開催で賛否両論。盛り上がりは今ひとつだったかも。しかしそんなモヤモヤ気分を吹き飛ばしてくれたのが、大リーグ大谷翔平選手の活躍でした。本塁打王にはあと一歩でしたが、大谷選手の投打走に日本はもとより全米のファンがワクワクしました。そして記録以上に魅了されたのが爽やかな笑顔。こんなに凄いことをやっているのに全然エラそうじゃない。「野球が大好きだから全力でやるだけ。楽しくてしょうがない！」グッときますね。私たちの一部には「周囲からどう見られているんだろう。結果を出さなきゃまた叱られるかも…」そんなことばかり考えていつもイジイジしています。けどもっと自分の可能性を信じて「大谷選手のように！」とは言わないけど、笑顔で楽しく頑張りたいですね。

進路ニュース(10月に実施した主な進路関係行事等)

■ 実力テスト(3年) ■ 立川相互病院看護講座(2年) ■ 進路講演会(1年)

